

# 本町E-NAのルールを守って、みんなで仲良く楽しい学び

埼玉県さいたま市

活動名

本町E-NAによる活動

関係する学校

与野本町小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	1人	16人	21年度	有	有	有	無
	放課後子供教室	コーディネーター数	ボランティア登録数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		1人	42人	32日	有	有	有	無
コミュニティスクール	実施場所				開始年度	放課後児童クラブとの連携		
	会議室、体育館、校庭				21年度	一体型		
	指定日				委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯

平成21年度にさいたま市チャレンジスクールモデル校として、与野本町小学校チャレンジスクール実行委員会が組織され、放課後チャレンジスクールと土曜チャレンジスクールがスタートした。木曜日の放課後チャレンジスクールは宿題等の自主学習後、工作、スポーツ、自由遊び等を選択し、3か所に分かれて活動している。第1・3土曜日の土曜チャレンジスクールは自主学習と工作、スポーツ、自由遊び等を組み合わせて活動している。どちらも学習するだけでなく、スポーツやレクリエーション等を通じて、学年を超えた友達との関わりや社会のルールなどが学べる場となるように考えている。

チャレンジスクール名の「本町E-NA」は、EducationとNavigatorから、与野本町小学校のチャレンジスクールはいいなと思ってもらえるようにと名付けた。

特徴

【特徴的な活動内容】

放課後チャレンジスクールは木曜日の5時間目終了後に行われる。まず宿題をし、他に読書やおセロ、将棋等をしながら学習タイムが終わるのを待つ。その後、会議室での工作（プラバン、牛乳パック工作等）と昔遊び、校庭（竹馬、砂場遊び、サッカー）と体育館でのスポーツ、自由遊び等を自由に選択している。学習タイム終了時に宿題が残っていても、残すか続けるかは自主性に任せ、保護者には出席カードで宿題が済んでいるか知らせている。

土曜チャレンジスクールは40分間の自主学習と工作又は校庭でのスポーツ、自由遊びを選択している。学習に対しては、必要に応じて学習内容を出席カードに記入してもらい、声かけや手助けをする。

年間を通じて、工作は季節や行事に関連した物を作るよう心掛け、冬の牛乳パックでのミニマフラーや松ぼっくりのミニツリーは毎年好評だ。

【実施に当たっての工夫】

放課後も土曜も全学年を対象としていて、4月に継続確認と新規募集のお手紙を出し、新規希望者には保護者説明会を実施する。ただし、1年生は学校に慣れることを優先し、冬時間となる11月からの参加とし、10月に保護者説明会を実施している。

放課後に参加する児童は、当日の朝、出席カードを提出する。1～3年生は参加者名簿を担当の先生に渡し、1・2年生はスタッフが教室まで迎えに行き、参加し忘れを防いでいる。

当日の活動内容とはじまりとおわりの挨拶をする児童名を黒板に書き、関心を持たせている。



根強い人気の砂遊び

事業を実施して

参加する理由は様々だが、チャレンジスクールが楽しい、もっと参加したいという児童が大半を占めている。また、保護者の方からも是非参加させたいという言葉がたくさんもらった。

スタッフは我が子と接するように児童としっかり向き合い、悪いことをしたときはきちんと注意し、褒めるときは心から褒めている。学習も工作も遊びも自主性を尊重し、子供たちの自由な発想を伸ばすよう心掛けている。

その他

スクール開設当初より学校の積極的な協力があり、体育館での運動用具も自由に使用でき、他の活動用具の保管場所も確保できていた。年を追うごとに活動場所が増え、PC室や図書室の使用が可能なので、雨天時など臨機応変に対応できる。

今後は学生と保護者スタッフの補充とともに、活動内容を見直し、子供たちがより一層楽しめるスクールにしていきたい。



ゲームに夢中